

株主メモ	
決算期	12月31日 定時株主総会 3月
期末配当金支払株主確定日	12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株
公告の方法	電子公告 当社ホームページ（https://www.jti.co.jp/）に掲載 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人・特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 ■お問い合わせ先・郵便物送付先 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711（平日9：00～17：00） ■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関（☎0120-244-479）で24時間承っておりますので、ご利用ください
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください

株式の諸手続きについて	
証券会社でお取引をされている株主様	特別口座をご利用の株主様
【お手続き、ご照会内容】 ●届出住所・氏名などのご変更 ●配当金の受取方法・振込先のご変更 ●単元未満株式の買取・売渡（買増）請求 ●証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※ など 口座を開設している証券会社 ●郵便物の発送／返戻に関すること ●支払期間経過後の配当金 ●書類が届かない／配当金領収証の紛失等のトラブル など 三菱UFJ信託銀行株式会社	【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】 ●届出住所・氏名などのご変更 ●配当金の受取方法・振込先のご変更 ●単元未満株式の買取・売渡（買増）請求 ●郵便物の発送／返戻に関すること ●支払期間経過後の配当金 ●証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※ ●その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ など お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711（平日9：00～17：00） 手続き用紙のご請求先 ●音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479（24時間）

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL 03-3582-3111 https://www.jti.co.jp/



- TOP MESSAGE
- 2016年度第2四半期決算報告
- 株主様アンケート結果のご報告
- JT NEWS
- JTグループ商品のご紹介
- JTグループのCSRの取り組み
- CLOSE UP! (JTグループ企業・部門紹介)
- 旅路の先で出会う温故知新

ひと
ときを、
想う。 JT

堅調なビジネスパフォーマンスにより、 為替一定で着実な利益成長



代表取締役社長

小泉 光臣

2016年度第2四半期実績および2016年度業績修正見込

2016年度第2四半期は、すべての事業においてトップラインが成長するとともに、海外たばこ事業における力強いビジネスモメンタムに牽引され、全社利益指標である為替一定ベースの調整後営業利益は、14.3%の成長となりました。

海外たばこ事業では、好調なGFB*のパフォーマンスや買収効果による数量成長に加え、各国における着実な単価上昇効果により、為替一定ベースの調整後営業利益は17.7%の増益となりました。

円ベースの調整後営業利益は、ロシアルーブルをはじめとする現地通貨対ドル、および円高のネガティブな影響により、9.3%の減益となっています。

国内たばこ事業においては、総需要の減少と「MEVIUS」等の定価改定による数量減を、「Natural American Spirit」の買収効果が一部相殺し、JT販売数量は0.7%の減少となりました。

一方、調整後営業利益は、「MEVIUS」の定価改定等による単価上昇効果に加え、2015年3月に実施した競争力強化施策効果等により3.0%の増益となりました。

医薬事業は、ロイヤリティ収入および一時金収入の増加により、また加工食品事業は、トップラインの伸長とコスト低減の取り組みを主因とした原材料費の減少により、いずれも前年同期の実績を上回る利益成長を果たしました。

2016年度の業績見込については、第2四半期までの好調なパフォーマンスを反映した結果、為替一定調整後営業利益を70億円上方修正し、対前年8.5%の成長を見込みます。為替影響を加味した財務報告ベースの調整後営業利益については、現地通貨対ドルの為替をポジティブな方向へ見直したものの、円高のネガティブな影響を受けることから両者が相殺し、同じく70億円の上方修正となっています。

営業利益および当期利益についても、調整後営業

利益の増加を主因に上方修正いたします。

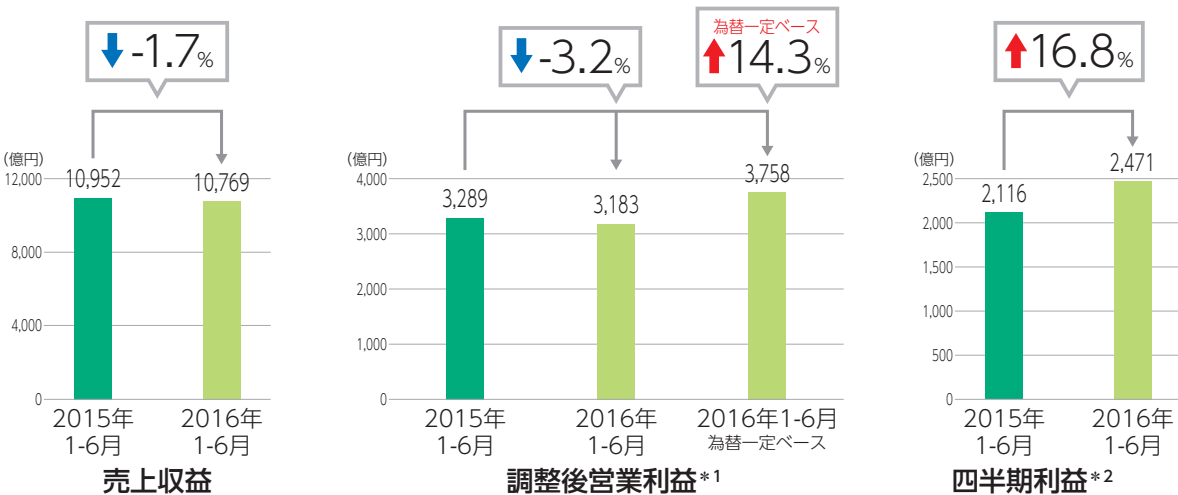
配当金については、年間で128円と当初予想から変更はなく、中間配当金は64円をお支払いする予定です。

下期に向けては、海外たばこ事業ではロシアをはじめとする総需要の減少、国内たばこ事業では競争の激化等、厳しい事業環境が続くと見えています。このような中、将来のさらなる利益成長を実現するための事業投資を着実に実行してまいります。

引き続き4Sモデルに基づき、我々の強みである変化への対応力を強化しつつ、中長期にわたる為替一定調整後営業利益のMid to high single digit成長を目指してまいります。

※ JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「Winston」「CAMEL」「MEVIUS」「LD」「Benson & Hedges」「Glamour」「Sobranie」「Silk Cut」「Natural American Spirit」の9ブランドをGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド)としております

2016年度 第2四半期決算*



(※1) 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費+調整項目(収益および費用)*
*調整項目(収益および費用)= のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等
(※2) 親会社所有者に帰属

2016年度 全社業績修正見込*

	2015年度 実績	2016年度 当初見込	2016年度 修正見込	対当初見込 増減	対前年 増減率
売上収益	22,529	22,000	21,200	↓-800	↓-5.9%
調整後営業利益	6,267	5,620	5,690	↑70	↑-9.2%
調整後営業利益 (為替一定ベース)	6,267	6,730	6,800	↑70	↑8.5%
当期利益*2	3,985	3,990	4,090	↑100	↑2.6%

(単位: 億円)

■ 1株当たり期末配当金
■ 1株当たり中間配当金

年間 118 年間 128
(円)

1株当たり
配当金

2015年度 2016年度
実績 見込

※比較対象としての2015年1-6月および2015年度実績は、継続事業ベースにてお示ししております

海外たばこ事業

第1四半期に発生した在庫調整影響に加え、好調が続くシェアや買収効果の発現により、総販売数量*1は4.4%の成長となりました。GFB販売数量についても、欧州をはじめとするさまざまな市場での好調を主因に6.7%の成長となりました。

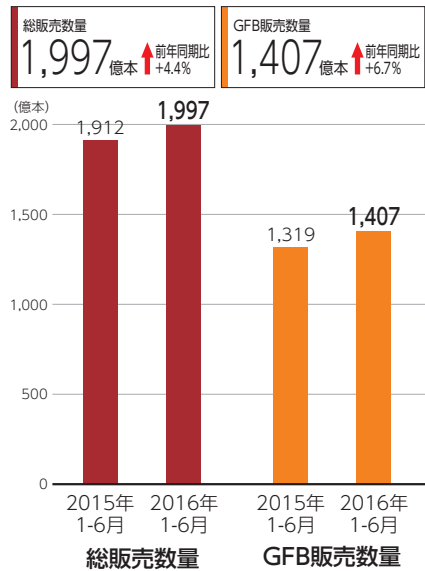
為替影響を除いたドルベースの調整後営業利益は、力強いプライシングとGFBの好調なパフォーマンスにより17.7%の増益となった一方、財務報告ベースでは、1-3月期に引き続きロシアルーブルをはじめとする現地通貨対ドルの不利な為替影響を受け2.3%の減益となりました。円ベース実績についても円高による大幅なネガティブ影響を受け、調整後営業利益は9.3%の減益となっています。

主要市場シェア (12か月移動平均)

	2015年6月	2016年6月	増減%pt
フランス	21.1%	21.6%	+0.5%pt
イタリア	20.0%	22.0%	+2.0%pt
ロシア (うちGFBシェア)	34.2% (24.1%)	33.4%*2 (24.4%*2)	-0.8%pt (+0.3%pt)
スペイン	22.1%	22.5%*2	+0.4%pt
台湾	39.0%	39.3%	+0.4%pt
トルコ	30.8%	29.9%*2	-0.9%pt
英国	41.6%	42.1%	+0.6%pt

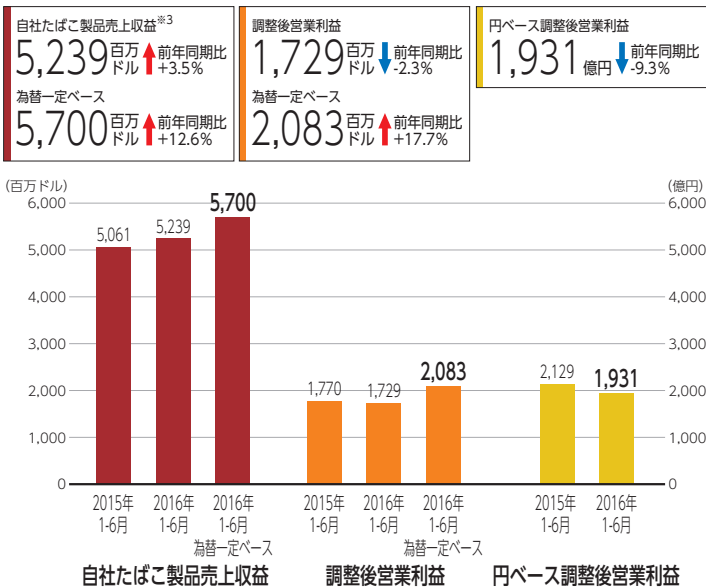
2015年7月から2016年6月までのシェア
ただし※2は2015年6月から2016年5月までのシェア

海外たばこ事業販売数量実績



※1 水たばこ/ Emerging Products/ 製造受託を除き、Fine Cut/ Cigar/ Pipe/ Snus込み

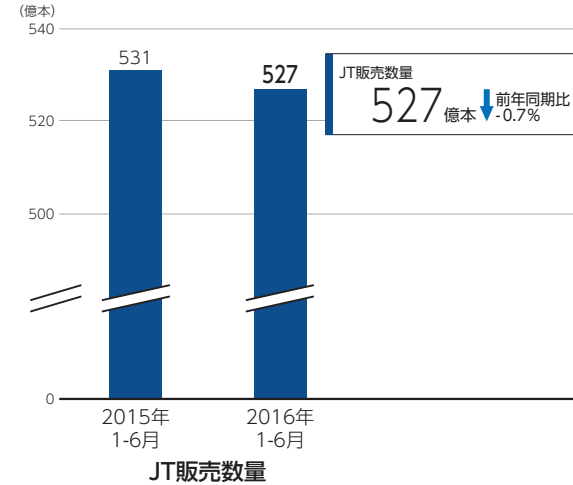
海外たばこ事業実績



※3 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み

国内たばこ事業

JT販売数量実績



※4 国内免税販売/中国事業/ Emerging Productsを含まない

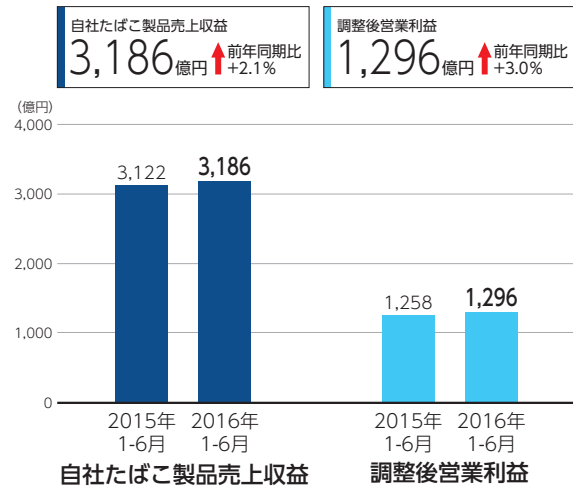
JTシェア/MEVIUSシェア

	2015年 1-6月	2016年 1-6月	増減%pt
JTシェア	60.0%	61.1%	+1.2%pt
MEVIUSシェア	32.2%	31.5%	-0.7%pt

厳しい競争環境が継続する中、総需要減少と「MEVIUS」等の定価改定による数量減を「Natural American Spirit」の買収効果が一部相殺し、JT販売数量*4は0.7%の減少に留まりました。「MEVIUS」のシェアは定価改定影響により減少したものの、JTシェアは「Natural American Spirit」の加入もあり、1.2%ptの増加となっています。

自社たばこ製品売上収益*5は、高価格帯の「Natural American Spirit」の加入と、「MEVIUS」の定価改定等を背景に2.1%、調整後営業利益は、それに加え昨年3月に実施した競争力強化施策の効果が発現したことにより、3.0%の増加となりました。

国内たばこ事業実績



※5 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/ Emerging Productsの売上込み

医薬事業

医薬事業は、スタリビルド等のロイヤリティ収入の増加に加え、第1四半期に発生した導出品の開発進展に伴う一時金収入も貢献し、対前年同期55億円増収の403億円、調整後営業利益は49億円の損益改善となる28億円となりました。

医薬事業 臨床開発品目一覧(2016年8月1日現在)

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序	開発 地域	開発段階					備考
				Phase1	Phase2	Phase3	申請準備中	申請中	
エムトリシタピン/テノホビル アラフェナミド フマル酸塩配合錠	HIV感染症/経口	逆転写酵素阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素の働きを核酸系逆転写酵素阻害剤により阻害し、ウイルス量を低下させる	国内	●	●	●	●	導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病/経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	国内	●	●			自社品
				海外	●	●			
JTZ-951	腎性貧血/経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内	●	●			自社品
				海外	●				
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患/ 経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内	●	●			自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患/ 経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外	●				自社品
JTT-251	2型糖尿病/経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素(PDH)を活性化し、高血糖を是正する	海外	●				自社品
JTK-351	HIV感染症/経口	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害し、ウイルス量を低下させる	国内	●				自社品
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患/ 経口	RORγアンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外	●				自社品
JTT-751 (クエン酸第二鉄水和物)	鉄欠乏性貧血治療/ 経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、体内で赤血球中のヘモグロビンの成分として使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	国内	●	●			導入品 (Keryx Biopharmaceuticals社) 鳥居薬品と共同開発 * 効能追加

(注)開発段階の表記は投薬開始を基準とする

導出品

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序	
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する
JTE-052	LEO Pharma社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する

前回公表時(2016年5月2日)からの変更点

<自社開発品>

・ゲンボイヤ®配合錠(JTK-303(エルピテグラビル)/コピシスタット/エムトリシタピン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠)につき、国内における製造販売承認を取得(2016年6月17日)

・JTE-451、新規臨床入り(海外Phase1)

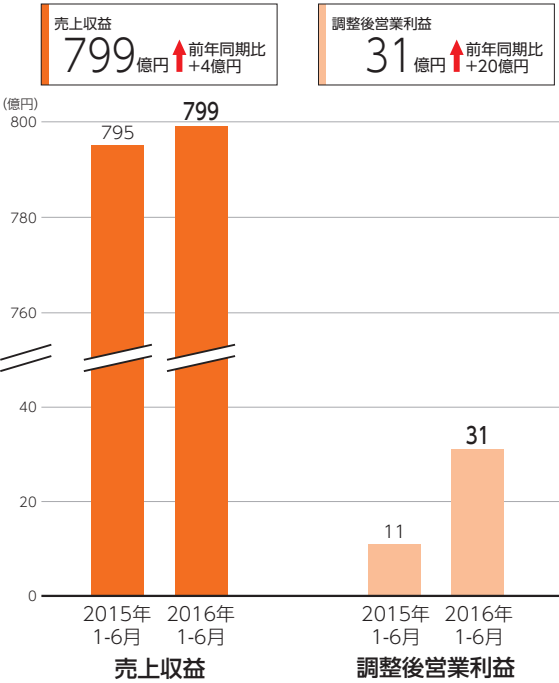
・JTT-751、新規臨床入り(国内Phase2)

加工食品事業

加工食品事業は、売上収益が対前年同期4億円の増収、調整後営業利益は主にコスト低減の取り組みや円高を背景とした原材料費の減少を主因に、20億円の増益となりました。



加工食品事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産業たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等

連結財務諸表

当社グループは、前年度において、飲料事業を非継続事業に分類しております。これにより、2015年12月期第2四半期における非継続事業からの利益または損失は、「非継続事業からの四半期利益」として、継続事業と区分して表示しております。

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前年度 (2015年12月31日)	当第2四半期 (2016年6月30日)	増減金額
資産			
流動資産	1,798,217	1,395,718	△402,500
非流動資産	2,760,017	2,964,516	204,498
有形固定資産	681,865	636,447	△45,418
のれん	1,429,287	1,510,315	81,028
無形資産	332,478	429,001	96,523
投資不動産	23,614	19,193	△4,421
退職給付にかかる資産	38,954	31,750	△7,204
持分法で会計処理されている投資	59,523	55,294	△4,229
その他の金融資産	101,727	102,045	318
繰延税金資産	92,570	180,471	87,901
資産合計	4,558,235	4,360,233	△198,001

point1 流動資産

現金および現金同等物の減少により減少しました。

point2 のれん／無形資産／繰延税金資産

Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得により、増加しました。

(単位：百万円)

科目	前年度 (2015年12月31日)	当第2四半期 (2016年6月30日)	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,265,920	1,189,402	△76,518
非流動負債	770,790	838,753	67,963
負債合計	2,036,710	2,028,155	△8,555
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,451,596	2,261,927	△189,669
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△444,333	△443,962	371
その他の資本の構成要素	△137,122	△446,626	△309,504
利益剰余金	2,196,651	2,316,116	119,464
非支配持分	69,929	70,151	222
資本合計	2,521,524	2,332,078	△189,446
負債および資本合計	4,558,235	4,360,233	△198,001

point3 流動負債

Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得に伴うブリッジローンにより短期借入金が増加したものの、暦日影響等により未払たばこ税が減少しました。

point4 その他の資本の構成要素

為替影響により減少しました。

point5 利益剰余金

親会社持分の当期利益を計上したことにより増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (2015年1月1日～ 2015年6月30日)	当第2四半期 (2016年1月1日～ 2016年6月30日)	増減金額
継続事業			
売上収益	1,095,221	1,076,879	△18,342
売上原価	△439,581	△433,713	5,868
売上総利益	655,640	643,166	△12,474
その他の営業収益	2,436	59,904	57,469
持分法による投資利益	2,844	2,649	△195
販売費および一般管理費等	△362,127	△360,700	1,427
調整後営業利益※	328,852	318,332	△10,520
営業利益	298,792	345,020	46,227
金融収益	8,894	3,880	△5,014
金融費用	△7,506	△9,536	△2,029
税引前四半期利益	300,180	339,364	39,184
法人所得税費用	△86,486	△90,084	△3,598
継続事業からの四半期利益	213,694	249,280	35,586
非継続事業			
非継続事業からの四半期利益	△17	—	—
全社ベース(継続・非継続合算)			
四半期利益	213,677	249,280	35,603
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	211,466	247,094	35,628
非支配持分に帰属する四半期利益	2,211	2,186	△25
四半期利益	213,677	249,280	35,603

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費±調整項目(収益および費用)*
*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益および費用等

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (2015年1月1日～ 2015年6月30日)	当第2四半期 (2016年1月1日～ 2016年6月30日)	増減金額
四半期利益	213,677	249,280	35,603
税引後その他の包括利益	△56,382	△324,847	△268,465
四半期包括利益	157,295	△75,567	△232,862
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	155,343	△76,232	△231,575
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,952	665	△1,287
四半期包括利益	157,295	△75,567	△232,862

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (2015年1月1日～ 2015年6月30日)	当第2四半期 (2016年1月1日～ 2016年6月30日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,145	△106,667	△149,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,595	△579,547	△512,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,001	371,375	394,376
現金および現金同等物の増減額(減少)	△46,451	△314,839	△268,387
現金および現金同等物の期首残高	385,820	526,765	140,945
現金および現金同等物にかかる為替変動による影響	4,268	△20,944	△25,212
現金および現金同等物の四半期末残高	343,637	190,982	△152,655

point6 投資活動によるキャッシュ・フロー

Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得により、支出額が増加しました。

point7 財務活動によるキャッシュ・フロー

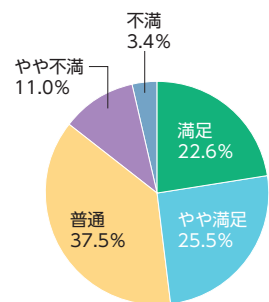
Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得に伴う短期借入れおよび社債の発行により増加しました。

株主様アンケート結果のご報告

第31回定時株主総会招集ご通知送付の際に実施しました株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回は、約3万7千名と非常に多くの株主様からご回答をいただきました。お寄せいただいたご回答の中から株主優待商品、株式保有に関する結果についてご報告いたします。

株主優待について

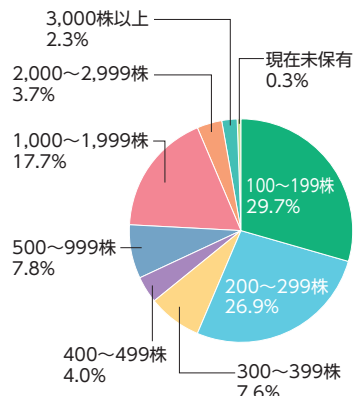
今回の株主優待の評価



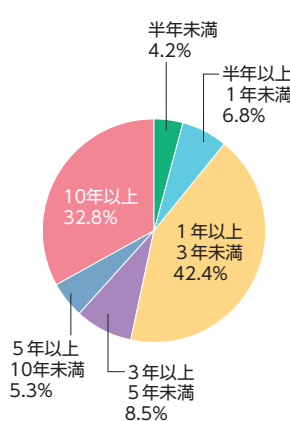
ご評価いただいた結果を受けまして、よりご満足いただける優待商品をお届けできるよう、努めてまいります。なお、株主様にお選びいただいた優待商品内訳は、ご飯セット(48.4%)、カップ麺・ご飯セット(25.3%)、スープ・調味料セット(13.8%)、冷凍うどんセット(8.0%)、ラスク・ジャムセット(2.7%)、寄付(1.7%)でした。

当社株式について

当社株式保有数を教えてください



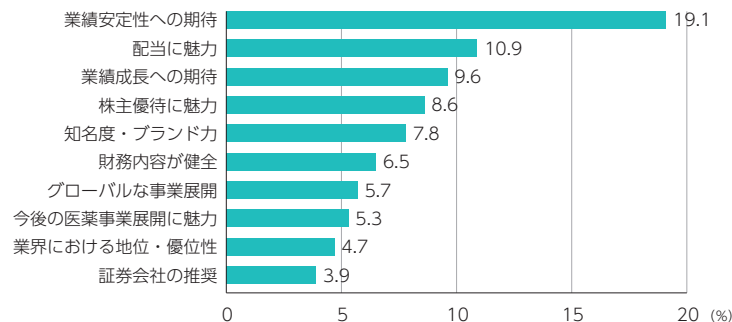
当社株式保有期間を教えてください



当社株式の保有期間について、2013年3月の売出し時からご所有いただいている株主様が多いこともあり、「1年以上3年未満保有」の株主様は42.4%、1994年の上場時から長期でご所有いただいている株主様を含め、「10年以上保有」の株主様は32.8% いらっしゃいました。

株式保有について

当社株式を保有した理由



昨年に引き続き、当社グループの「業績安定性への期待」が当社株式保有の理由として一番多くのご回答をいただきました。株主様のご期待にお応えべく、中長期にわたって持続的な利益成長を目指してまいります。また、次いで多くの株主様にご回答いただいた配当につきましても、1株当たり配当金の安定的・継続的な成長を目指してまいります。

株主優待商品の発送について

JTでは株主の皆様へ、当社グループ商品のご利用を通じて、当社グループ事業をより一層ご理解いただきたいの思いから、株主優待制度を実施しております。

2016年6月30日現在、当社株式100株以上保有の株主様に、保有株式数に応じてご希望の優待商品を9月下旬より順次贈呈させていただきます。優待商品は、テーブルマーク株式会社、富士食品工業株式会社、株式会社サンジェルマンの商品をご用意しております。

優待商品のお申し込みにつきましては、8月31日をもって締め切らせていただいておりますが、お申し込みをご希望の株主様はお早めに下記の「JT株主優待事務局」へご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、JTカレンダーは、株主優待のお申込み期限(8月31日)までに「株主様ご優待申込書」にてご送付をご希望された株主様にのみ、11月下旬~12月上旬にお届けいたします。

優待商品につきましては、2016年6月30日現在の株主名簿にご登録のご住所宛にお届けいたしますので、7月以降にお引越等により住所変更がある場合は、下記の「JT株主優待事務局」へご連絡ください。

あわせて、口座を開設されている証券会社様にて住所変更のお手続きをお願いいたします。

特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社にてお手続きをお願いいたします。

株主優待に関するお問い合わせ

JT株主優待事務局 ☎0120-791-187

事務代行：三菱UFJ信託銀行(株) 受付時間/平日9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始(12/30~1/4)を除く

株主優待における、東日本大震災復興支援への寄付について

2015年12月31日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「東日本大震災に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、2,726名の株主様にお選びいただきました。

その総合計額4,576,000円を2016年6月13日に社会福祉法人 中央共同募金会『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金 2J」』を通じて、東日本大震災の復興支援のために活動するNPO法人に寄付いたしました。

ご協力いただきました株主の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、全国的な視野により活用される寄付金や2つ以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れおよび調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

2016 4~6月 熊本地震への迅速な支援を実施

「JT国内大学奨学金」震災復興の一環として熊本県内の指定校を追加

JTは、一般財団法人ジェイティ奨学財団を通じて、「JT国内大学奨学金」の給付を行っています。これは多様な分野で活躍する次世代の人材を数多く輩出したいという想いのもと、経済的理由により大学進学が困難で、かつ優秀な学生に対し、安心して学業に専念できる環境を提供するための給付型奨学金制度です。

今年は従前からの東日本大震災の震災支援枠を継続させるとともに、平成28年熊本地震に対する支援として、熊本県に所在する高校3校および大学1校を新たに指定校に追加しました。

教育機会の均等確保に向けた課題の解決は、決して企業一社で成し得るものではありませんが、JTは、当奨学金がわずかなりとも解決・解消の一助となり、さらに支援の輪が社会全体に広がることを期待しています。

「社内マッチング募金」避難生活者の支援に活用

JTグループでは、熊本県を中心に発生した地震活動の被害に対する支援の取り組みの一環として、従業員から集まった募金の同額を会社より上乗せして拠出する「社内マッチング募金」を実施しており、6月末までに400万円を超える寄付金が集まりました。

寄付金の用途について、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン（以下、PWJ）と協議した結果、PWJが避難生活者支援の一環として6月より活動を展開している約80棟のコンテナハウス型居住スペースの設営および運用に活用いただくことに決定しました。

JTグループでは、引き続き熊本地震への支援を継続して行っています。

2016年度奨学生(高校推薦)内定実績

北海道・東北	12名
関東	7名
中部	2名
関西	7名
中国・四国	6名
九州・沖縄	5名
	計39名

※今年の募集は終了いたしました



6月から運用を開始したコンテナハウス

コンテナハウス内の様子。約6畳の居住空間にエアコン・扇風機・冷蔵庫・布団等を完備



敷地内にはペットの預り所やドッグランスペースも

2016 7月 JTサンダーズ 2選手の入部が決定

バルトシュ・カミル・クレク選手

クレク選手は、現ポーランド代表のオポジットです。205cmの身長から放つスパイクに加え、強烈なジャンプサーブやバックアタックが持ち味。また、大型選手でありながらウイングスパイカーとしての経験も持ち合わせ、レセプション（サーブレシーブ）にも非凡な才能があるため、守備面・攻撃面において高いレベルでのプレーを見せてくれることが期待されています。来日は9月下旬を予定しています。



山本将平選手

山本将平選手は、高いジャンプから打ち出される、切れのあるスパイクが武器のウイングスパイカーです。レセプションにも定評があり、勝負強さを兼ね備えたプレイヤーです。また、大学在籍時には全日本バレーボール大学男子選手権大会にて準優勝の成績を収めるなど、所属するチームの勝利に貢献してきました。



2016 7月 抗HIV薬「ゲンボイヤ® 配合錠」が7月より発売

2016年6月17日にJTが製造販売承認を取得した抗HIV薬「ゲンボイヤ® 配合錠」（エルビテグラビル150mg／コビスタット150mg／エムトリシタビン200mg／テノホビル アラフェナミド10mg配合錠）を7月8日より鳥居薬品が販売を開始しました。

本配合錠は、鳥居薬品が2013年より国内で販売している抗HIV薬「スタリビルド® 配合錠」の4つの有効成分のうち、テノホビル ジソプロキシルフルマル酸塩（「TDF」）をテノホビル アラフェナミド（「TAF」）に置き換えた配合錠で、1日1回1錠の服薬で治療を行う抗HIV薬です。

JTグループでは、抗HIV薬として「スタリビルド® 配合錠」「ツルバダ® 配合錠」「エムトリバ® カプセル200mg」「ビリアード® 錠300mg」「ビラセプト® 錠250mg」を鳥居薬品が販売しています。新たに「ゲンボイヤ® 配合錠」を販売することにより、HIV感染症領域における医療に一層貢献してまいります。

ゲンボイヤ® 配合錠の概要

製品名：ゲンボイヤ® 配合錠（Genvoya® Combination Tablets）
一般名：エルビテグラビル／コビスタット／エムトリシタビン／テノホビル アラフェナミドフルマル酸塩
効能・効果：HIV-1感染症
用法・用量：通常、成人および12歳以上かつ体重35kg以上の小児には、1回1錠（エルビテグラビルとして150mg、コビスタットとして150mg、エムトリシタビンとして200mgおよびテノホビル アラフェナミドとして10mgを含有）を1日1回食後に経口投与する。
●包装：30錠／瓶 ●薬価：1錠6,942.10円 ●製造販売承認日：2016年6月17日 ●薬価収載日：2016年6月29日
●発売日：2016年7月8日 ●製造販売元：日本たばこ産業株式会社 ●販売元：鳥居薬品株式会社

※エルビテグラビルはJTが創製した化合物であり、2005年にギリアド社へ日本を除く全世界における独占的開発・商業化権を導出しています
 ※TDFは「ビリアード® 錠」、「ツルバダ® 配合錠」および「スタリビルド® 配合錠」の有効成分として含まれています
 ※「ゲンボイヤ」、「スタリビルド」、「ツルバダ」、「エムトリバ」、「ビリアード」、「Genvoya」はギリアド社の登録商標です

100%天然メンソール使用×新・香りチェンジカプセル 「メビウス・プレミアムメンソール・オプション・レッド」

2016年に誕生から3周年を迎えた「メビウス」は、「もっと新しく。もっと驚きを。」をスローガンに、お客様により良い商品およびサービスのご提供を通じて、ブランドの進化に取り組んでまいりました。さらなるブランドの進化に向けた新商品として、このたび「メビウス・プレミアムメンソール・オプション・レッド」3銘柄を8月下旬より全国発売しました。



メビウス・プレミアムメンソール・オプション・レッド・8

タール値:8mg/
ニコチン値:0.5mg

メビウス・プレミアムメンソール・オプション・レッド・5

タール値:5mg/
ニコチン値:0.3mg

メビウス・プレミアムメンソール・オプション・レッド・ワン・100's

タール値:1mg/
ニコチン値:0.1mg

価格:各440円(20本入)

爽やかに広がる
“フレッシュな香り”

新たにJT独自開発の香料を封入した“新・香りチェンジカプセル”を搭載。カプセルをつぶす前は、100%天然メンソールならではの最高純度の爽快感と高品質な味わいを、つぶすと、これまでのオプションシリーズにはなかった爽やかに広がる“フレッシュな香り”をお楽しみいただけます。

担当者コメント

JT マーケティング戦略部 ブランドマネージャー 村谷 泰志



プレミアムメンソールのオプションラインとしては第3弾となります。今回の新商品投入により、メンソール市場における甘さを求めるお客様層へ対応するラインナップがより一層充実できました。

伸長するメンソール市場の中で「メビウス」のオプションラインの継続的な成長は重要なポイントであり、「オプション・レッド」はその成長を促進できる商品です。

フレーバーカプセルの新たな選択肢である「100%天然メンソール×新・香りチェンジカプセル」の「オプション・レッド」に、ぜひご期待ください。

※このページは株主の皆様へに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません



ごつつ旨いたこ焼&焼そば

内容量:1食入/241g

1トレイで2つの味が楽しめる
テーブルマーク自慢のスナックセット

担当者コメント

テーブルマーク(株) M&S本部 商品開発部 大野木 誠

テーブルマークの人気シリーズ「ごつつ旨い」から待望のセット商品が登場します。中はとろ〜り、外はカリッと焼き上げた大粒のタコが入った“まんまるのたこ焼”と香ばしいソースの香りが食欲をそそる“もちもち食感の焼そば”が一緒になりました。内袋ごとレンジでチンするだけで、すぐに食べられる便利なトレイ入り。塾に行く前のお子様、主婦の方々のランチなど、さまざまな食シーンに最適な一品です。



国産若鶏の
塩から揚げ320g

内容量:320g

国産若鶏使用、国内工場製造で
おいさと安心を食卓にお届けします



たきたてご飯
国産こしひかり(分割)4食

内容量:4食入/600g(150g×2食×2個)

雪国越後の水を使い、独自の製法で
ふっくらつややかに炊き上げました

JTグループのCSRの考え方や取り組みを紹介 「JTグループ サステナビリティレポート FY2015」発行

6月21日、JTウェブサイトにおいて「JTグループ サステナビリティレポート FY2015」を発行しました。今年のレポートでは、特集として「人権の尊重」と「Emerging Products」を取り上げたほか、「高い倫理観をもった事業運営」「ともに働く」「各事業における取り組み」「環境負荷低減の取り組み」「私たちの社会貢献活動」など幅広い観点から、JTグループのグローバルなCSRの取り組みについて紹介しています。

ウェブサイト上での閲覧に適したインタラクティブ版も、昨年同様、掲載しました。各ページのボタンをクリックいただくだけで、該当箇所に飛ぶことができ、読みたいページに素早くたどり着くことができます。



印刷版

JTウェブサイトからご覧になれます
<https://www.jti.co.jp/csr/report/>

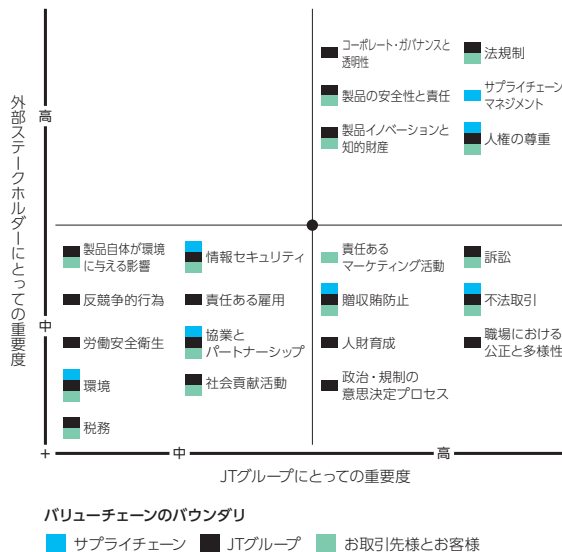
インタラクティブ版

JTグループのマテリアリティ

グローバルなCSRのトレンドを踏まえ、JTでは2015年に、JTグループ全体を対象とするマテリアリティ分析を初めて実施しました。「マテリアリティ」とは、各企業が「社会とともに持続的に成長するために取り組むべき重要課題」を意味します。報道分析や他社分析をはじめ、社内外のステークホルダーへのインタビューを行い、最終的にはトップマネジメントによる議論を通じて、JTグループにとって最も重要な22のマテリアリティが確定しました。

右の図は、この22のマテリアリティを、外部ステークホルダーにとっての重要度とJTグループにとっての重要度の2軸に分けて示したものです。サステナビリティレポートの中で、これらのマテリアリティに対する現在の取り組みを紹介しています。

今後もJTでは、このマテリアリティ分析を定期的に変更して実施していく予定です。



JTグループは、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて、事業展開地域でさまざまな社会的課題の解決に取り組んでいます。このページでは、国内外におけるJTグループのCSR（企業の社会的責任）の取り組み事例についてご紹介します。

「JT NPO助成事業」2016年度の助成団体を決定 全国で42法人、総額約5,745万円の助成を実施



JT東京支社での助成金交付式の様子

JTは、社会貢献活動の一環として、特定非営利活動法人（以下、NPO法人）をはじめとした非営利法人が行う「地域コミュニティの再生・活性化」につながる事業に対する助成を行っています。2016年度は助成先団体として、全国42法人に対し、総額約5,745万円の助成を行います。

今回の募集は、2015年10月1日から11月20日まで行い、243件の応募申請がありました。選考については、JTで申請内容の審査を行い、最終的に社外有識者を中心に構成する「NPO助成プログラム推進委員会」の審議を経て、42団体（新規36件、継続6件）に決定しました。

JT NPO助成事業について

JTグループは、社会と共生する「良き企業市民」であることを目指し、「JTグループの社会貢献活動の基本方針」を定め「社会福祉」、「文化・芸術」、「環境保全」、「被災地域への支援」を重点分野とし、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

JTでは、「社会福祉」分野における活動の一環として、地域コミュニティの再生と活性化を推進しています。このため、公益性を有し利益を追求しないNPO法人の活動を支援し、社会問題の解決と、持続可能な発展に取り組んでいます。

当事業は1999年度から2003年度活動分までは、当社の関連財団であった「財団法人たばこ産業弘済会」が実施していましたが、2004年度活動分よりJTが事業を引き継いで展開しており、2016年度で18年目となります。

JTは、今後とも社会の一員として社会と共生する「良き企業市民」であることを目指し、継続的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

JTグループの詳しいCSRの取り組みについては、JTウェブサイトをご覧ください。

JT CSR 検索

トゥールースピリット タバコカンパニー

GFBの一つに加わった、 「Natural American Spirit」を販売

感度の高い喫煙者に絶大な支持を得る「Natural American Spirit」。品質への強いこだわり、自然、大地、農業といった独特の価値観が共感を呼び、国内外で着実に支持を拡げています。



代表取締役会長
ビル・モラチニック

代表取締役社長
東 智徳



所在地：東京都港区赤坂7丁目1-1
社員数：106名(2015年2月現在)
設 立：2007年3月

左の写真は、フィールドをコンセプトにした同社地下1階にあるミーティングスペース。たばこ畑を描いた壁、間伐材を使った床、丘の起伏を表現したユーズドパレットなど、環境や大地への敬意を表現しています。

強い個性を持つ単一ブランドを販売

トゥールースピリット タバコカンパニー（以下、TSTC）が販売する「Natural American Spirit」は、「たばこ本来の味」を追求し、保存料や保湿剤、香料などを一切加えていない無添加のたばこです。

原料のタバコ葉は世界中で200軒を超える契約農家から直接仕入れており、農家は地球環境に負荷をかけない独自の栽培方法「PRC栽培※」、もしくはオーガニック栽培で丁寧にタバコ葉を育てています。

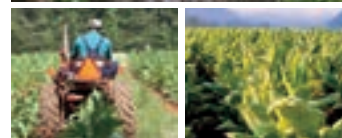
このような育て方では、タバコ葉の収穫も丁寧にされます。特にオーガニック栽培は、多くの場合一枚一枚手でタバコ葉を摘みとっています。

摘み取られたタバコ葉は数年分ストックされ、マスタープレンダーが最適な葉を厳選、ブレンドし、毎年変わらぬ味を生み出しています。

ニューメキシコ州サンタフェで誕生

「Natural American Spirit」は、創業者3人の「世界中でまだ誰も作ったことのないような、最高のたばこを作ろう」という想いのもと、1982年にアメリカのニューメキシコ州サンタフェで誕生しました。

サンタフェは多くのネイティブ・アメリカンが暮らす街。“たばこは大いなる空の恵みと母なる大地が融合したものであり、その煙を吸うことで自然と一体となる”という彼らネイティブ・アメリカンの姿勢や考えは、無添加のたばこを作るといふ創業者のアイデアを生み出すきっかけとなりました。



2000年に世界で初めて米国農務省から有機栽培のタバコとして認証を受けた

※Purity・Residue・Clean／栽培過程で地球環境に限りなく負担を与えない独自のクリーンな農法

商品一覧

ORGANIC	SPECIAL	MENTHOL	REGULAR	ROLL YOUR OWN
ターコイズ タール:12mg ニコチン:1.4mg	ベリック タール:9mg ニコチン:1.2mg	メンソール ライト タール:9mg ニコチン:1.0mg	ライト タール:8mg ニコチン:1.0mg	オーガニック ブレンド ターコイズ 定価 1,160円 40g入り 巻紙50枚入り
ゴールド タール:6mg ニコチン:0.7mg		メンソール ウルトラ ライト タール:5mg ニコチン:0.6mg	ウルトラライト タール:3mg ニコチン:0.4mg	ベリックブレンド 定価 1,080円 40g入り 巻紙50枚入り
		メンソール ONE タール:1mg ニコチン:0.1mg		オリジナルブレンド 定価 1,080円 40g入り 巻紙50枚入り

(各480円／20本入)

受け継がれるビジョン

TSTCにはルーツであるアメリカ・ニューメキシコ州の「サンタフェ ナチュラル タバコ社」から受け継がれているビジョンがあります。それが、「我が社のナチュラルなたばこ製品、それが生まれる土地、我が社が頼りとしている地域社会、そして我が社の精神に命を吹き込む人々すべてと妥協せず関わっていくこと」というものです。

このビジョンに基づき、お客様、取引先など、同社のたばこに関わる人たちとの関係を大切にし、ともに価値観を作っています。



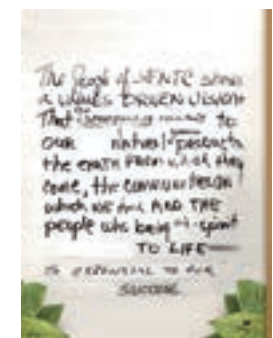
ニューメキシコ州サンタフェは「他とは何か異なる町」といわれる独特な雰囲気のある街

JTグループとともに世界へ拡大

TSTCはJTグループに加わり「サンタフェ ナチュラルタバコ カンパニー ジャパン」から社名を変更しました。「TRUE SPIRIT」には、真摯にたばこ向き合う信念が、「COMPANY」には、仲間たち全員がお客様に商品を届けるために全力を尽くしているという意味が込められています。

また、カンパニーロゴのモチーフはヒマワリです。花びらは1枚1枚が社員を象徴し、常に太陽を見ているヒマワリのように、信念を見失わず、大輪の花を咲かせたいという想いで作られました。

JTグループのGFBに加わり、今後は世界中に「Natural American Spirit」を拡げていきます。



TSTCに受け継がれたビジョン。同社のスタッフは全員がこのビジョンを理解し、追求しています

※このページは株主の皆さまに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません



紫煙のいざない

旅路の先で出会う≫温故知新

耕石庵 (こうせきあん)

福島県



観音堂の境内に佇む「たばこ石」

耕石庵のある川俣町は山間に位置する静かな町です。福島県で初めてたばこ耕作が行われた土地という説もあることから、大正時代以前からたばこ耕作が行われていた可能性もあります。

そんな川俣町のたばこ耕作者は、たばこの葉の形が彫られたように見える自然石を御神体として祀っていました。これは「たばこ石」と呼ばれ、現在も同町飯坂地区にある観音堂の境内にひっそりと佇んでいます。

古民具の展示を通して、 人々の生活のあり方を知る

福島県伊達郡川俣町は大正時代末期からたばこ栽培が始まり、現在もバーレー種の生産が行われているたばこ産地です。長年にわたり同町でたばこ耕作に従事してきた佐藤紘一さんは、かつて葉たばこの乾燥に使用していた作業室を改装し、明治時代から昭和初期にかけて使用された農機具や生活用具である“民具”を展示する古民具資料館「耕石庵」を開館しました。

“民具”とは「民家の日常生活における諸要求に基づいて作られ、長い間使用されてきた道具や器物の総称」で、日本を代表する財界人で民俗学者の故渋沢敬三によって提唱された学術用語です。

佐藤さんが収集した古民具は4,000点以上。佐藤さん自身が探し集めたもののみならず、町内外の農家を中心とした方たちから寄贈されたものもあります。その結果、耕石庵の中にはたばこ関係の農機具をはじめ、同じく同町の基幹産業であった養蚕に関する機具や稲作には欠かせない脱穀機など、多彩な農機具類が一堂に会することになりました。

2011年の震災で多大な影響を受けた川俣町。このまま何もしなければ古民具類が消滅してしまうという危機感から佐藤さんは耕石庵を設けました。今後、展示を通して、民具を製作・使用した人々の生活のあり方や民具の変遷などを後世に伝えていきたいそうです。



耕石庵

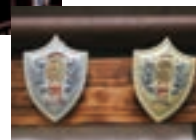
所在地／〒960-1412
福島県伊達郡川俣町字仲ノ内22
電話番号／024-566-2548
開館時間／9:00～16:00
(不定休のため、来館の際は要連絡)

たばこ石

所在地／〒960-1401
福島県伊達郡川俣町飯坂南古堂道内
(観音堂境内)



たばこ関係の資料展示と優良な葉たばこ生産者の証＝門票。たばこ耕作地で門票制度があるのは福島県のみ



川俣町の基幹産業だった養蚕関係の機具類



バーレー種の葉たばこ乾燥施設を古民具資料館「耕石庵」として改装した



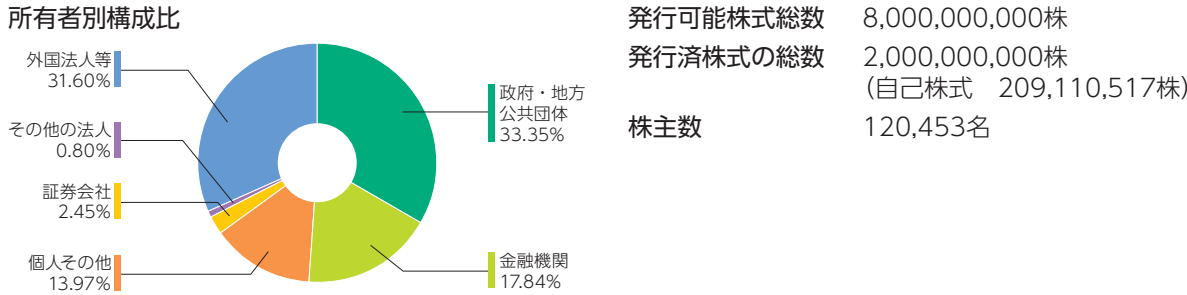
現在も同町で生産されている葉たばこ(バーレー種)

会社概要

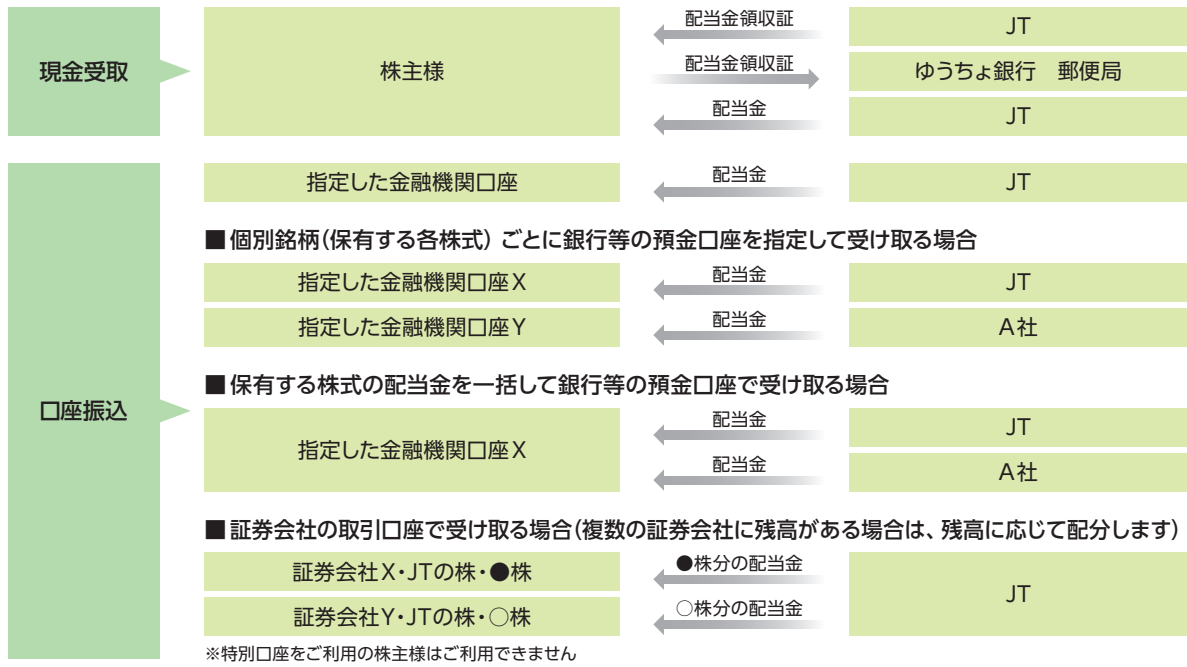
商 号 日本たばこ産業株式会社
本社所在地 〒105-8422
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル
TEL.(03) 3582-3111 (代表)
FAX.(03) 5572-1441

設 立 1985年(昭和60年)4月1日
資 本 金 1,000億円

株式の状況 2016年6月30日現在



配当金のお受け取り方法 口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



役員 2016年7月1日現在

取締役	執行役員
取締役会長 丹呉 泰健	社長 (CEO)
代表取締役社長 小泉 光臣	副社長 (副CEO、コンプライアンス・総務・法務・企画・IT・ビジネスディベロップメント・人事・監査担当)
代表取締役副社長 新貝 康司	副社長 (たばこ事業本部長)
代表取締役副社長 岩井 睦雄	副社長 (財務・CSR・コミュニケーション担当)
取締役副社長 宮崎 秀樹	専務執行役員 (コンプライアンス・総務担当)
取締役 岡 素之*	常務執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長)
取締役 幸田 真音*	常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)
*取締役 岡 素之および幸田 真音は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です	
監査役	執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長)
常勤監査役 中村 太	執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画室長)
常勤監査役 湖島 知高	執行役員 (たばこ事業本部 原料責任者)
監査役 今井 義典*	執行役員 (たばこ事業本部 R & D責任者)
監査役 大林 宏*	執行役員 (たばこ事業本部 製造責任者)
*監査役 今井 義典および大林 宏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です	
*法令に定める監査役の数に欠けることになる場合に備え、補欠監査役 政木 道夫を選任しております	
	執行役員 (医薬事業部長)
	執行役員 (医薬事業部 監査総合研究所長)
	執行役員 (財務責任者)
	執行役員 (CSR担当)
	執行役員 (法務担当)
	執行役員 (企画・IT担当)
	執行役員 (ビジネスディベロップメント担当)
	執行役員 (人事担当)
	執行役員 (コミュニケーション担当)

小泉 光臣	新貝 康司	岩井 睦雄	宮崎 秀樹	千々岩良二	山下 和人	佐々木治道	廣渡 清米	福地 淳一	長谷川 靖	柴山 武久	大友 平和	藤本 宗明	松田 剛一	大川 滋紀	見浪 直博	永田 亮子	山田 晴彦	前田 勇気	筒井 岳彦	嶋吉 耕史	中野 恵
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

株価の推移 1994年10月27日上場～2016年7月 当社株価(東証終値、月間)



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています